

アルコール関連問題相談事業

協働の相手(名称)	AA、断酒会等の自助グループ AAとは、自らに飲酒の問題があり、その飲酒のとらわれから回復しようという人たちの自助グループ		
事業年度	平成19年度～ (開所当時から実施)		
県の担当部署	精神保健福祉センター 直通電話 0952-73-5060		
県の予算額	445千円	協働の形態	事業協力

目指す姿

アルコール関連問題に対する関係者の研修・家族教室のプログラムの中で、自助グループからの体験発表やメッセージを伝えてもらうことによって、関係者や家族への知識普及や当事者に対する理解を図っていく。

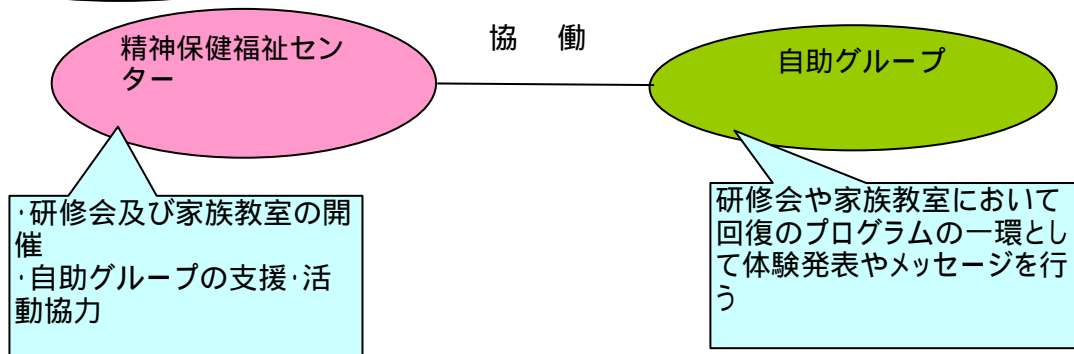
事業概要

アルコール関連問題に関する知識の普及、相談指導等総合的な対策を実施することにより、アルコール関連問題の発生予防、アルコール依存者の社会復帰の促進を図る。

協働の背景

関係者や家族への知識普及においては、当事者の理解を促すためには、依存症という疾病の理解といった理論と同時に、当事者の体験発表やメッセージを伝えることが非常に有効である。
また、当事者にとっては、体験発表・メッセージを積み重ねることが自助グループの活動の理解に繋がり、自らの回復にも結びつく。そして、当事者の社会参加にも結びついていく。そこで、事業協力としての協働を実施し、研修会や家族教室でそのような場を設け、協働で取り組むこととした。

協働の内容



協働の成果

研修などの実施後のアンケートでも、「当事者の体験発表・メッセージが非常に心に残った」「理解が深まった」「改めて自分たちの活動について振り返ることができた」と好評であり「次回にも是非入れてほしい」という要望も高い。
一方、当事者からも「当事者理解の機会が与えてもらってよかった」との声が多い。お互いの目的がうまく噛合った効果があがっていると感じている。

県民のメリット

疾病としてのアルコール依存症問題の理解は、一般県民にまではまだ届きにくい面はあるものの、関係者の間にはアルコール関連問題について予防の観点だけでなく、当事者に対する理解や回復についての認識が深まってきている。

今後の展望

・自助グループの活動方針を大切にしながらの協働が重要である。